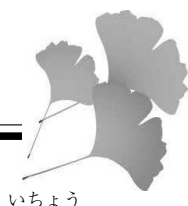


2014年10月10日
発行人 柳澤 信夫



いちよう

第12次防計画 2nd Stage における 労働衛生対策の推進について



東京労働局労働基準部
健康課長 渡邊 富雄



東京都産業保健健康診断機関連絡協議会の会員の皆様方には、労働基準行政の推進に、特段のご協力をいただいております。厚くお礼申し上げます。

東京労働局では、平成25年度より「第12次東京労働局労働災害防止計画」をスタートさせ、「Safe Work TOKYO」をキャッチフレーズに、官民一体で取り組んでいます。

労働衛生対策としては、過重労働、メンタルヘルス、産業保健活動の活発化、健康づくり、化学物質、アスベスト、腰痛、熱中症、受動喫煙防止等に係る対策に取り組んでいます。小目標には、「メンタルヘルスへの取組：安全衛生管理体制の構築が必要な全ての事業場で取組む」、「熱中症による死傷災害（前計画期間中の累計値と比べ）20%減」を掲げています。

今年度は2年度目（2nd Stage）ですが、次の4つの事項を重点としています。

1 過重労働による健康障害防止対策

昨年度の脳・心臓疾患の請求件数は116件（対前年度12件減）であり、認定件数は38件（対前年度29件減）となっています。

長時間労働による健康障害防止のために、「過重労働による健康障害防止対策」の徹底を図ります。過重労働が行われているおそれのある事業場には、監督指導等により、労働時間管理、医師による面接指導等の実施の徹底を図り、50人未満の事業場に対しては地域産業保健センターの利用勧奨を図ります。

皆様方のところに、医師による面接指導等のご相談があった場合には、ご自身での対応の他、必要に応じ地域産業保健センターのご紹介

をお願いします。

2 化学物質対策

化学物質を取り扱う事業場に対し、計画的に監督指導等を行い、特化則、有機則等の遵守の徹底を図り、SDS交付義務対象物質のリスクアセスメント（以下「RA」と表記。）の義務化（法令改正）を踏まえ、SDS交付義務対象物質を中心にRAの実施、結果に基づく適切なばく露防止措置を促進します。化学物質の製造者等に対し、譲渡・提供時の危険有害性情報の確実な伝達を指導します。

3 メンタルヘルス対策

昨年度の精神障害等の労災請求件数は236件（対前年度8件減）であり、認定件数は80件（対前年度10件減）に上っています。

「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に基づく対策を、経営トップの方針表明により積極的に取り組んでいただくよう要請等していきます。取組みが困難な事業場等には、東京産業保健総合支援センターの活用を図ります。

本年10月29日には、東京産業保健フォーラム（場所：ティアラ江東）を、皆様方を始めとした産業保健関係団体のご協力をいただき、1000人規模で開催し首都東京におけるメンタルヘルスの取組の気運醸成を図ります。是非とも成功させましょう。

4 アスベストによる健康障害防止対策

本年6月1日に改正石綿則、改正技術上の指針が施行となっており、遵守の徹底を図ります。アスベスト製品の輸入・製造等の全面禁止、

アスベストに係る健康診断、健康管理手帳制度について、周知徹底を図ります。

最後に、本年6月25日に改正労働安全衛生法が公布されています。

上記2に関し、化学物質のRAが義務化（対象：SDS交付義務のある640の化学物質）され、平成28年6月までに施行されます。

上記3に関し、ストレスチェックが義務化（50人未満の事業場は努力義務）され、平成27年12月までに施行されます。皆様方におかれましても、健康診断とともにストレスチェックを担っていただくことになるかと思われます。

政省令等で具体的な事項が決まりますが、皆様方のご協力をいただき周知を図っていきたくと思っています。

以上の労働衛生対策の推進について、特段のご支援をいただきますようお願いいたします。



事務局ニュース

都産健協事務局 二階堂 靖彦

《平成26年度役員会、総会、その他について》

今春、開催されました都産健協の平成26年度の役員会と総会につきましてご報告致します。役員会及び総会は、4月15日（火）電設工業健康保険組合会館にて同時開催し、合わせて親睦を深める懇親会も開催致しました。

役員会は、柳澤会長はじめ理事、監事、部長、事務局を合わせ13名のご出席を頂き開催致しました。

議案は、平成25年度事業報告案及び収支決算案、平成26年度事業計画案及び収支予算案、役員・部会の人事案件、退会機関（1機関）でした。

平成26年度の総会は、役員会終了後引き続き行われ、46会員機関のうち30機関（ほか委任状提出14機関、欠席2機関）の出席をいただき、来賓に東京労働局労働基準部健康課課長 渡邊 富雄様、並びに東京産業保健総合支援センター副所長 野村 みどり様をお招きして開催致しました。

柳澤会長の開会の辞に続き、ご来賓の東京労働

局労働基準部健康課渡邊課長様より第12次東京労働局労働災害防止計画についてご挨拶を頂き、特にH26年度は、地域と連携し50人未満の事業所に対し地域ごとに具体的な活動を行っていくとのお話を頂きました。

引き続き東京産業保健総合支援センター野村副所長様より4月1日より名称が変わったこと、都産健協28号でも触れた3事業について紹介していく中で、50人未満事業所の産業医の相談、医療相談など職場の安全確保などの活動を行っていき、都産健協とも協調していくとのお話を頂きました。

今回提議された平成25年度の事業報告案、収支決算報告書案及び平成26年度の事業計画案、収支予算案、役員・部会人事案、会員の退会などの議案については先の役員会で審議された方向に沿って原案どおり承認されました。

また今年度の主要事業の職域健康診断の有見率状況調査と産業保健フォーラムへの協賛、会員機関の役職員を対象とした研修会の開催、会報誌「都産健協」の年2回発行を行うことが決定いたしました。なお小規模事業場の健診受診を促進する一環として協賛している東京労働保険事務組合連合会の会員事務所を対象にした健康診断事業についても受診者拡大を図りながら継続していくことを確認しました。

全ての議事終了後、記念講演として医療訴訟専門である弁護士 柴田 崇先生による「健診センターで発生する医療事故とその法的対応」についてご講演を頂きました。

弊会にあたり大坪副会長より、都産健協の社会的活動の一環として、データの保全活動は、大規模災害時など何かあったとき必要となるため今後も検討課題として推進することが大事であるとのご挨拶を頂きました。また総会後の会員機関同士のコミュニケーションの場である懇親会は、21機関49名の方が参加され会話も弾み楽しく情報交換を行い終始和やかな親睦を深める場となりました。

なお総会時には、入会会員機関は無し、とご報告しておりましたが、総会開催日以降に入会の申し出を頂いた「株式会社オアシス」が、本年度より賛助会員として入会して頂くこととなりましたので、お知らせいたします。

現在、都産健協の広報活動は、年2回の会報誌、並びに産業保健フォーラムのみなっておりますが、広く活動状況を知らしめるために都産健協のホームページを立ち上げることといたしました。開設予定は、H27年度からと計画しております。

企画部会活動報告と今後

部会長 山岸 裕

2014/ 5/16 第1回企画部会開催

(公社)東京都医師会の山口いづみ先生をお迎えして、過去の健診データが医療面で大きく貢献した事例をお聞かせ頂き、ますます健診データの保全と活用のご大切さを痛感しました。

診療・治療にあたって健診データの重要性は認知されつつあるが、個人情報保護等の観点や費用の面でなかなか“連携”が進まない現状がある。まずは最低限のデータ(画像データを除いた測定値・検査値等)を安全に保存することから始めてみてはどうか。また都産健協は東京都内の組織であることから、東京都医師会、東京都福祉保険局等と連携を取り、全国に先駆けて東京から発信していくようにとのご意見をいただきました。

現在全衛連にてバックアップデータベースの構築が検討されているので、その状況も視野に入れながら会員機関の意見をしっかりと聞きながら検討していくとの結論となりました。

2014/ 7/24 第2回企画部会

前回の内容を踏まえながら、今企画部会として出来ることを検討いたしました。

- ① 会員機関へのアンケート
・インフルエンザワクチン等の共同購入に関する意見聴取等
- ② がん検診受診キャンペーン実施について
別途アンケートのたたき台を作成し、内容について次回検討することとなりました。

2014/ 8/ 7～8 健診機関見学研修

かねてより日本健康管理協会様にて全ての健診(施設・巡回)に測定値等の誤記入の防止、結果報告の短縮を目的としてハンディー端末を導入している事例が紹介されており、今回はその勉強のため見学研修会を開催いたしました。

当日は成人病巡回健診車とシステム化された施設内を見学させていただき、導入のきっかけ、効果、課題等の説明を受けながら、参加機関からの質問等にもお答えいただき、自機関の現状課題の解決策となるかなど意見交換を行いました。

2014/ 9/19 第3回企画部会開催

部会機関より出されたアンケート質問案を基に内容の検討をいたしました。

先般話題となっている個人情報流失事故も踏まえながら、アンケートたたき台を作成し、別途事務局と連携し、実施に向けての準備を行うこととなりました。

今後の活動として、都産健協事務局と連携しながら各機関へのアンケート調査を行ない、今後都産健協が進むべく指標づくりの一助となるよう、企画部会も沢山の発信をしていきたいと考えております。

事業部会の活動報告

部会長 小川 純一

平成26年度の第1回事業部会を6月17日(火)に東京産業保健総合支援センター研修室で開催致しました。

東京労働局より渡邊健康課長、中村副主任労働衛生専門官に出席していただき、以下の議題について協議した。

- (1) 職域健康診断有所見者状況調査実施計画及び内容について

調査内容は基礎調査となる「性、年齢別集計分析」(調査票1)と特別調査の「企業規模別 性、年齢別集計分(調査票2)及び「企業業種別 性、年齢別集計分析」(調査票3)の三種類です。

調査依頼文(会長名、健康課長名、産保センター副所長名)を会員機関に郵送し、その後実施要領及び調査票(1、2、3)をメールで発送する。

また、集計担当者が今回調査から長濱さつ絵先生(全日本労働福祉協会)に変更になります。

この事業も16年目になり、他にない250

万人前後の膨大なデータをもとにして解析している調査です。

今回調査から参加していただいた機関ごとに全調査結果中の有所見率のレベルをご希望があればお知らせすることができますので多くの会員機関の参加をお願いしたい。

(2) 「産業保健フォーラム IN 東京」における有所見者調査結果の発表について

今年度も昨年同様に有所見者調査結果の資料を広報部会で作成し、11月29日(水)に「ティアラこうとう」で開催される「産業保健フォーラム IN 東京」で配布する。

(3) その他

今年度も来年2月に研修会を開催いたします。

特別講演は多くの会員機関の役職員に参加していただけるようなテーマで開催したいと考えております。

なお、講師、テーマ等でご希望がありましたら事業部会長まで早めにご連絡下さい。

広報部会の活動報告

部会長 市川 英一

広報部会は8月28日開催し、第29号会報誌及び会員名簿について検討を行いました。会報誌については、トップページは、4月に東京労働局労働基準部健康課課長に就任されました渡邊課長様に「第12次防計画 2nd Stageにおける労働衛生対策の推進」についてご寄稿を依頼することになりました。また、告知記事として10月29日(水)江東区にあるティアラこうとうで開催される「産業保健フォーラム IN TOKYO 2014」の講演内容、THP体験コーナー、相談・展示内容の紹介や2年ぶりとなる都産健協の会員名簿の他、毎号恒例の事務局からは新たにホームページの立ち上げと総会をはじめ、企画部会、事業部会、広報部会の記事、及び、4月から組織替えとなった東京産業保健総合支援センターの産業医等研修案内等を掲載することにしました。

働く人の職場では全ての職場で「健康の確保」が求められています。今年もティアラこうとうにて「産業保健フォーラム IN TOKYO 2014」が開催されます。当協議会も後援団体として参加いたします。会員の方々にも参加をよろしくお願い致します。

本フォーラムの
キャッチコピーは

こころと体の健康設計
～私の夢そしてチャレンジ！

日時：平成26年10月29日(水)
10:30～16:10(開場10:00)

場所：ティアラこうとう

参加費無料

産業保健フォーラム IN TOKYO 2014 プログラム

◆特別講演

「メンタルヘルス不調の予防に向けて
～職場復帰支援にも触れながら～」

産業医科大学 産業生態科学研究所

精神保健学教室 教授

医学博士 廣 尚典 氏

◆事例発表1

「メンタルヘルス活動に関するアンケート結果」
～衛生管理者の役割について～

衛生管理者協議会

事業検討委員会

委員 小沼 博子 氏

◆事例発表2

「健康課題の「見える化」で進める健康づくり活動」
～花王グループのコラボヘルス事例～

花王株式会社

人材開発部門 豊澤 敏明 氏

◎リフレッシュ体操

東京健康保持増進機関連絡協議会

◎THP体験コーナー

運動機能検査、骨密度測定、健康指導、実技体験など

◎東京産業保健総合支援センターコーナー等

◎東京都産業保健健康診断機関連絡協議会

定期健康診断有所見率結果・会報誌、パンフ配布

主催 東京労働局 (公社)東京労働基準協会連合会 東京産業保健総合支援センター
協賛 東京都特別区長会 (公社)東京都医師会 (公社)東京都歯科医師会 地区労働基準協会
東京都産業保健健康診断機関連絡協議会 東京健康保持増進機関連絡協議会
(一社)日本労働安全衛生コンサルタント 日本作業環境測定協会京葉支部
東京都社会保険労務士会 他関係団体

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会（都産健協） 会員名簿

	機 関 名	〒	所 在 地 1（連絡先）	電 話	F A X
1	（一財）健康医学協会	102-0094	千代田区紀尾井町4-1 ホテルニューオータニカデモンタワー2F	03-3239-0015	03-5276-7080
2	（公財）パブリックヘルスリサーチセンター-附属健康増進センター- 健康増進事業本部	101-0041	千代田区神田須田町1-8-4 陽友神田ビル5F	03-3251-3877	03-5577-5003
3	（一社）日本健康倶楽部 東京支部	102-0093	千代田区平河町2-16-15 北野アームス307	03-3511-8865	03-3238-5771
4	（医社）こころとからだの元氣プラザ	102-8288	千代田区飯田橋3-6-5	03-5210-6605	03-3238-2140
5	（一財）近畿健康管理センター 東京事業部	135-0063	江東区有明3丁目5番7号 TOC有明 ウェストタワー12階	03-5500-6777	03-5500-6778
6	幸生健康管理センター ファーストメディカルクリニック	103-0024	中央区日本橋小舟町15-17	03-5643-3171	03-5643-3172
7	（医社）頌 栄 会 上田診療所	103-0027	中央区日本橋2-1-10 柳屋ビルB1F	03-3271-2722	03-3281-6765
8	（医財）南葛勤医協 芝健診センター	105-0004	港区新橋6-19-21	03-3431-7491	03-5776-1631
9	（医社）青鷲会 鷲谷健診センター	110-0003	台東区根岸2-19-19	03-3873-9166	03-5808-1181
10	（医社）同 友 会	112-0002	文京区小石川1-12-16 小石川TGビル	03-3816-2250	03-3818-9277
11	（一財）近藤記念医学財団 富坂診療所	112-0002	文京区小石川2-5-7	03-3814-2661	03-3811-0532
12	（医社）七星会 カスガメディカルクリニック	113-0033	文京区本郷4-24-8 春日タワービル5F	03-5689-8211	03-5689-8210
13	（医社）俊秀会 エヌ・ケイ・クリニック	120-0005	足立区綾瀬3-7-15 岩崎ビル2F	03-3620-2034	03-3620-2446
14	（医社）三恵寿会	130-0022	東京都墨田区江東橋2-19-7 富士ソフトビル2F	03-5624-5320	
15	（一財）労働医学研究会	130-0022	墨田区江東橋4-30-12 大宝ビル	03-5600-5335	03-5600-5336
16	（一財）日本予防医学協会	135-0001	江東区毛利1-19-10 錦糸町江間忠ビル	03-3635-1153	03-3635-1027
17	（医社）日 健 会	136-0071	江東区亀戸6-56-15	03-3684-3971	03-3684-3979
18	（一財）全日本労働福祉協会	142-0064	品川区旗の台6-16-11	03-3783-9411	03-3783-6598
19	（独）労働者健康福祉機構 東京労災病院	143-0013	大田区大森南4-13-21	03-3742-7301	03-3743-9082
20	（医社）松 英 会	143-0027	大田区中馬込1-5-8	03-3773-6771	03-3775-5680
21	（一財）産業保健協会	146-0095	大田区多摩川1-3-18	03-5482-0801	03-5482-0803
22	（一財）日本健康増進財団	150-0013	渋谷区恵比寿1-24-4	03-5420-8011	03-5420-8039
23	（一財）産業保健研究財団	150-0036	渋谷区桜丘町2-9 カスヤビル3F	03-5428-9410	03-3460-2119
24	（医財）東 友 会 友愛クリニック	151-0063	渋谷区富ヶ谷2-8-1	03-5453-1817	03-5453-1819
25	（一財）日本健康管理協会 新宿健診プラザ	160-0021	新宿区歌舞伎町2-31-11 第2モナミビル4F	03-3209-0217	03-3209-1753
26	（医社）生 光 会	160-0022	新宿区新宿3-1-13 京王新宿追分ビル7F	03-5363-3334	03-5363-3335
27	（医社）幸楽会 幸楽メディカルクリニック	160-0022	新宿区新宿1-8-11 新宿すこやかプラザ	03-3355-0308	03-3355-0266
28	（医社）菱秀会 金内メディカルクリニック	160-0023	新宿区西新宿7-5-25 西新宿木村屋ビル2階	03-3365-5521	03-3365-5520
29	（公財）東京都予防医学協会	162-8402	新宿区市谷砂土原町1-2	03-3269-1143	03-3269-7562
30	（医社）朋翔会 弥生診療所	164-0013	中野区弥生町2-25-13	03-3380-2241	03-3380-2206
31	（一社）衛生文化協会 城西病院	167-0043	杉並区上荻2-42-11	03-3390-1402	03-3390-2177
32	（一財）労働衛生協会	168-0072	杉並区高井戸東2-3-14	03-3331-2251	03-3331-0027
33	（医財）綜 友 会	169-0051	新宿区西早稲田2-20-15	03-3200-1540	03-3200-1558
34	（一社）労働保健協会	173-0027	板橋区南町9番11号	03-3530-2132	03-3530-2149
35	（公財）愛世会 愛誠病院	173-8588	板橋区加賀1-3-1	03-3961-5351	03-3961-0962
36	（医社）浩生会スズキ病院 健診センター	176-0006	練馬区栄町7-1	03-3557-3003	03-3557-4061
37	（医社）潮 友 会 うしお病院	196-0021	昭島市武蔵野2-7-12	042-541-5425	042-546-5258
38	新町クリニック健康管理センター	198-0024	青梅市新町3-53-5	0428-31-5301	0428-31-1777
39	（医社）相 和 会	252-0232	相模原市中央区矢部4-10-13	042-756-2666	042-759-2184
40	（医社）青 山 会	273-0011	千葉県船橋市湊町2-8-9	047-420-8630	047-420-8631



東京産業保健総合支援センター研修案内(平成26年11月～平成27年1月)

- ◇研修のお申し込みは、FAX以外に当センターのホームページから直接申し込むことができます。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075東京都千代田区三番町6-14日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.sanpo-tokyo.jp/>

◆認定産業医研修◆

- ※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。
- ※同じテーマ・講師の研修を複数回受講されても、単位の発行は1回限りとさせていただきます。

日時	テーマ	講師	単位	定員
11月4日(火) 14:00～16:00	快適職場づくりとメンタルヘルス対策及び法令に関して 労働基準行政のトピックスと パワハラ問題への対応について触れます。また、中小企業向けメンタルヘルス対策を考える上で、人間関係面からの快適職場づくりが注目されています。厚生労働省が開発した快適職場調査を体験していただきます。他の事業場と比較しやすいモデル事業の調査結果の解説を行います。希望者には当日使用したスライドを電子媒体で差し上げます。	古山 善一	生涯・更新2	70
11月10日(月) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	30
11月12日(水) 14:00～16:40	海外勤務者の過労死予防を考える 1 上海で働く日本人労働者の労働時間、ストレスと健康障害の関係 2 上海で働く日本人労働者の死亡者数の推移とその原因について 3 中国における勤務者の労働ストレスと健康障害 - 中国政府の過労死予防対策はどこまで進んでいるのか？また、外国人が中国社会で働く場合に留意すべき点について 4 出席者によるシンポジウム 経済構造の変化に伴い、日本企業の海外進出は増えており、特にアジアで働く勤務者が急速に増えていきます。しかしながら、海外勤務者の過労死予防対策はほとんど検討されていないのが現状です。労働者健康福祉機構では、海外勤務者の過労死予防のための調査研究として、中国同済大学と共同研究を進めてきました。本研修ではその研究成果を産業医、産業看護職、衛生管理者等産業保健スタッフの方々に公開し、海外勤務者の健康障害、過労死予防対策の一助として頂くことを目的とします。 ※すべての研修を受講される方のみお申込み可。 (産業医・保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	宗像 正徳 高次 寛治 李 覚	生涯・専門2	40
11月14日(金) 14:00～16:00	産業保健における抗加齢医学の実践 高齢労働者の増加に伴い、脳・心臓疾患やがんなどに罹患する労働者が増え、治療と職業生活の両立支援が産業保健活動の大きなテーマの一つとして注目されています。このような就業配慮による健康管理対策とともに、加齢による健康影響を予防することも重要な健康管理対策です。生活習慣病などの予防に加え、ロコモティブシンドロームや老視は職場での転倒予防や眼精疲労対策と密接に関連しますし、男性を含めた更年期症状への対応はQOWL (Quality of Working Life: 労働生活の質) の向上に役立ちます。最近の知見を含めて、産業保健における抗加齢医学の実践について解説します。	竹田 透	生涯・専門2	70
11月17日(月) 14:00～16:00	職場復帰支援のあり方 職場復帰支援の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。	大西 守	生涯・専門2	70
11月26日(水) 14:00～16:00	海外勤務者の健康管理 海外の職場では国内とは異なる健康問題が存在するため海外勤務者を抱える企業では、この集団に特化した健康管理体制の構築が求められています。本研修会では海外の職場における健康問題とその対策について解説をいたします。	濱田 篤郎	生涯・専門2	70
11月27日(木) 14:00～16:00	事例検討～産業医としてどう対応するか～ 職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、グループワーク、全体発表を通じて参加者全員で考えていきたいと思います。	内田 和彦	生涯・実地2	40
12月2日(火) 14:00～16:00	職場における生活習慣病の予防 生活習慣病の予防は、我が国の公衆衛生の中で極めて重要な位置を占め、特に職場での予防活動が健康寿命の延伸に重要な役割を果たします。ここでは、職場における生活習慣病の予防を一次予防、二次予防、そして、三次予防の観点から現在行われている諸活動の有効性について総合的に考察し、今後の生活習慣病予防のあり方について考えます。	山口 直人	生涯・専門2	70
12月4日(木) 14:00～16:00	快適職場づくりとメンタルヘルス対策及び法令に関して 労働基準行政のトピックスと 労災認定の仕組みについて触れます。また、中小企業向けメンタルヘルス対策を考える上で、人間関係面からの快適職場づくりが注目されています。厚生労働省が開発した快適職場調査を体験していただきます。他の事業場と比較しやすいモデル事業の調査結果の解説を行います。希望者には当日使用したスライドを電子媒体で差し上げます。	古山 善一	生涯・更新2	70

12月12日(金) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・ 実地3	30
12月16日(火) 14:00～16:00	産業医に必要な労働基準法 産業医が産業保健活動を行うに当たって、「労働契約」や「時間外・休日労働協定」「就業規則」等について、労働基準法でどのように定められているのか知っておく必要があります。最近の労働相談事例や監督指導結果などから、過重労働防止やメンタルヘルス対策に関連した労働基準法上の問題やポイントについて解説いたします。	東京産業保健 総合支援セン ター副所長 野村みどり	生涯・ 更新2	70
12月19日(金) 14:00～16:00	胆管がん等職業がん対策 2012年(平24)5月に印刷業における胆管がんが顕在化し、既に30例以上が労災認定された。これまでの職業がんをおさらいするとともに、職業がん対策の現状等を学ぶ。	石井 義脩	生涯・ 専門2	70
12月25日(木) 13:00～17:00	じん肺有所見者に対する教育指針の普及定着事業講習会 1 じん肺対策について 2 じん肺のしくみと健康管理 3 粉じんばく露低減措置と関係法令について 近年、新規じん肺有所見者の発生例が見られ、さらなる対策の実施強化が求められることから、じん肺有所見者に対する教育指針の普及啓発を行うための研修会を開催します。 (注意)外部会場での開催となります。 会場：二松学舎大学九段1号館大教室2階201号(千代田区三番町6-16) ※この研修会は、3コマまとめてのお申込みとなります(単独受講不可)。 (産業医・保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	深澤 健 水橋 啓一 市川 英一	生涯・ 更新1 ・ 生涯・ 専門3	150
1月8日(木) 14:00～16:00	快適職場づくりとメンタルヘルス対策及び法令に関して 労働基準行政のトピックスと 治療と職業生活の両立支援について触れます。また、中小企業向けメンタルヘルス対策を考える上で、人間関係面からの快適職場づくりが注目されています。厚生労働省が開発した快適職場調査を体験していただきます。他の事業場と比較しやすいモデル事業の調査結果の解説を行います。希望者には当日使用したスライドを電子媒体で差し上げます。	古山 善一	生涯・ 更新2	70
1月13日(火) 14:00～16:00	過重労働による健康障害防止対策の進め方 増え続ける過労死、過労自殺にどう対処するか。労働者健康福祉機構から出されている過重労働に対する面接指導のための「チェックリスト」を使い、効率的な面接指導の仕方を解説していききたいと思います。	土屋 謙	生涯・ 専門2	70
1月20日(火) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・ 実地3	30
1月22日(木) 14:00～16:00	メンタルヘルス関係法令・判例・行政施策 メンタルヘルス不調労働者に係る「事業者の安全配慮義務」、「復職判定」等に関する判例を紹介し、「メンタルヘルス指針」、「職場復帰支援」、「ストレスチェック(労働安全衛生法の改正により義務化)」等の行政施策と企業における対策の進め方について解説します。	梶川 清	生涯・ 更新2	70

◆保健師・看護師研修◆ (実力アップコース単位認定)

※産業看護基礎コース・短縮Nコース未修了の方も受講できます。

日時	テーマ	講師	単位	定員
11月6日(木) 14:00～16:00	働く人のメンタルヘルス最前線③～行政が新設する「安全衛生に関する優良企業を評価・公表する仕組み」について～ 事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」をご紹介します。 第3回は「第12次労働災害防止計画」で示されている「安全衛生に関する優良企業を評価・公表する仕組み」について、評価手法や企業に対するインセンティブについて大枠がまとまる時期ですので、この制度を職場のメンタルヘルス対策に活用する視点で、解説いたします。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、これらの情報を関係者に説明する力が身につけられることを願っております。 希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 石見 忠士	単位なし	30
11月12日(水) 14:00～16:40	海外勤務者の過労死予防を考える 1 上海で働く日本人労働者の労働時間、ストレスと健康障害の関係 2 上海で働く日本人労働者の死亡者数の推移とその原因について 3 中国における労働者の労働ストレスと健康障害-中国政府の過労死予防対策はどこまで進んでいるのか?また、外国人が中国社会で働く場合に留意すべき点について 4 出席者によるシンポジウム 経済構造の変化に伴い、日本企業の海外進出は増えており、特にアジアで働く労働者が急速に増えています。しかしながら、海外勤務者の過労死予防対策はほとんど検討されていないのが現状です。労働者健康福祉機構では、海外勤務者の過労死予防のための調査研究として、中国同済大学と共同研究を進めてきました。本研修ではその研究成果を産業医、産業看護職、衛生管理者等産業保健スタッフの方々に公開し、海外勤務者の健康障害、過労死予防対策の一助として頂くことを目的とします。 ※すべての研修を受講される方のみお申込み可。 (産業医・保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	宗像 正徳 高次 寛治 李 寛	単位なし	15

11月20日(木) 14:00～16:00	職場における救急体制 職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	単位なし	20
11月25日(火) 14:00～16:00	実践(戦)的職場復帰支援～メンタルヘルス不調の困難事例への対応～ 職場における困難なメンタルヘルス不調者への対応を、事例を通して皆さんと一緒に考えていきましょう。衛生委員会などで利用したい場合、使用したスライドを参加された方に差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 菅野 由喜子	単位なし	30
11月28日(金) 14:00～16:00	職場の効果的な受動喫煙対策の進め方～労働安全衛生法改正のポイント～ 本年の労働安全衛生法改正により職場の受動喫煙対策の推進が規定されました。これを受け本研修では、職場の受動喫煙対策の上手な進め方のポイントについて具体的アプローチ方法を学べます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	斎藤 照代	単位なし	30
12月1日(月) 14:00～16:00	発達障害と思われる事例への対応を考える 最近、広汎性発達障害と思われる職場不適応事例が多くなります。事例を通して、広汎性発達障害や注意欠陥多動性障害などについて、その特徴と対処法について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎 美奈子	単位なし	30
12月8日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス【社内研修の進め方】～セルフケア～ メンタルヘルスケアの基本は一人ひとりのセルフケアにあります。予防という観点からストレスマネジメント方法の指導の仕方について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	単位なし	30
12月15日(月) 14:00～16:15	がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために～治療と就労のバランスを支えるヒント～ 今回の研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを目標として、労働者と職場を支えるために役立つ支援ツールのご紹介、ならびに事例検討を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	錦戸 典子 佐々木 美奈子	単位なし	15
12月18日(木) 14:00～16:00	実践(戦)的職場復帰支援 ～メンタルヘルス不調者の再発防止への対応～ さあ復帰しました。一定期間は働けたもののまた再度休業することになりました。こんな事例 もあります。再発する状況等について、事例を通して考えていきましょう。 衛生委員会などで利用したい場合、使用したスライドを参加された方に差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 菅野 由喜子	単位なし	30
12月25日(木) 13:00～17:00	じん肺有所見者に対する教育指針の普及定着事業講習会 1 じん肺対策について 2 じん肺のしくみと健康管理 3 粉じんばく露低減措置と関係法令について 近年、新規じん肺有所見者の発生例が見られ、さらなる対策の実施強化が求められることから、じん肺有所見者に対する教育指針の普及啓発を行うための研修会を開催します。 (注意) 外部会場での開催となります。 会場：二松學舎大学九段1号館大教室2階201号 (千代田区三番町6-16) ※この研修会は、3コマまとめてのお申込みとなります(単独受講不可)。 (産業界・保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	深澤 健 水橋 啓一 市川 英一	単位なし	25
1月6日(火) 14:00～16:00	働く人のメンタルヘルス最前線④～改正労働安全衛生法(ストレスチェック制度)最新情報&事例紹介～ 事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」をご紹介します。 第4回は、改正労働安全衛生法(ストレスチェック制度)の現時点での最新情報、並びに「こころの耳」に掲載されている事業場の取り組み事例、並びに機構などにて蓄積された研究成果の事例の中から、ストレスチェックを職場のメンタルヘルス対策に活かしている事例と、それらに共通する特徴などについて解説します。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。 希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 石見 忠士	単位なし	30
1月23日(金) 14:00～16:15	DVDによるシュミレーションで学ぶ～実践的面接スキル向上トレーニング～ カウンセリングの基本スキルである傾聴力とアセスメント(見立て)力を鍛える実践的な面接スキルの研修です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進 松島 尚子	単位なし	40
1月29日(木) 14:00～16:00	実践(戦)的職場復帰支援 ～メンタルヘルス不調者の長期休業になっている状態等への対応～ メンタルヘルス不調者の長期休業が続いています。あるいは治療しながらもなかなか通常勤務に戻れません。事例を通して考えていきましょう。 衛生委員会などで利用したい場合、使用したスライドを参加された方に差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 菅野 由喜子	単位なし	30

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会

事務局連絡先：〒112-0002 東京都文京区小石川1-12-16 小石川TGビル(医社) 同友会

TEL03-3816-2250 FAX03-3818-9277

事務局責任者 渡辺 新吉